

島根における看護師基礎教育を考える会を開催しました ～ 看護師基礎教育の充実・強化をめざして、看護の未来を創ろう ～

島根県看護協会は日本看護協会からの支援を受け、看護師基礎教育4年制化の意義を浸透させる機運をたかめる目的で、令和2年2月9日（日）に島根県立大学出雲キャンパスにおいて『島根における看護師基礎教育を考える会』を開催しました

看護基礎教育機関8校28名、病院・訪問看護ステーション等13施設38名、県・市町行政4施設11名、看護連盟・鳥取県看護協会役員等13名、協会関係者15名であり参加総数は104名と会場はほぼ満員となり盛会に開催することができました。

日本看護協会常任理事の岡島さおり氏を講師にお迎えして、講演『看護師養成をめぐる現状と課題』について、参加者の情報共有の機会にもなりました。

その後、シンポジウム『島根の看護を支えるために』と題して、3名のシンポジストをお迎えしました。県行政の立場から島根県健康福祉部長・吉川敏彦氏、看護教育の立場から島根県立大学看護栄養学部長 梶谷みゆき氏、医療看護現場から松江赤十字病院看護部長 加納さえ子氏から貴重な提言を頂きました。また、会場からも活発なご意見等をもらうことができ盛会に終了できました。考える会の開催にあたり、関係機関・関係者の皆様のご支援・ご協力を頂き感謝申し上げます。



看護の力で健康な社会を！

